

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『路面電車からトラムへ』

— フランスの都市交通政策の挑戦』

青木亮，湧口清隆著／晃洋書房発行／2020年5月／A5判／149ページ／1,800円＋税

本書は、青木氏（東京経済大学）と湧口氏（相模女子大学）が1980年代以降のフランス都市交通政策について、トラムを中心に20年近く調査研究を行ってきた成果を取りまとめたものである。1985年のナントにおけるトラム導入の経緯を当時のナント市長へのヒアリングなどから明らかにし、フランスの諸都市における動向、トラム導入に大きな影響を与えた交通負担金制度や、フランス独自の仕組みとも言える運行委託制度を取り上げている。加えて、トラム導入による都市交通の成果を分析し、導入後の動きとしてガイドウェイ・バスや新バス・サービス（BHNS: Bus à Haut Niveau de Service）も紹介することで一連の流れを捉え、日本へ示唆を与える内容となっている。

目次：ナント市のトラム導入事例から／フランスにおける都市公共交通の導入状況／フランスの「交通負担金」制度／運行委託制度／トラム導入の成果／高品質な公共交通サービス導入に向けた新たな動き／フランスの都市交通政策から見えるもの 原 □

『次世代モビリティ社会を見据えた都市・交通政策 — 欧州の統合的公共交通システムと都市デザイン』

日本都市センター編／同発行／2020年3月／A5判／322ページ／1,000円＋税

日本都市センターでは、2014年度より国内外の都市自治体における地域公共交通政策および土地利用政策等に関する事例を紹介し、課題・対応や展望について調査・分析してきた。本書は、2015年にフランス、2018年にドイツで実施した現地調査を中心に、公共交通政策にとどまらず都市空間の質を高める総合的な都市・交通政策について紹介している。さらに、これらの事例が単に技術革新のみに依存するのではなく、地道に「統合的公共交通システム」を構築する必要性を示しているとする。なお、この調査には交通経済研究所の研究者も参加している。

目次：これからのモビリティと欧州各国の都市・交通の特性／欧州における都市交通を取り巻く社会的背景／欧州の道路再編を中心とした都市デザイン／充実した公共交通政策を支える制度／新しいモビリティと公共交通政策との連携／資料編
— 2018年ドイツ運輸連合調査報告 田邊 □

新着情報（2020年6月分）

* 資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名，編著者名，発行所，発行年月

<和 書>

- 1 移動革命——MaaS, CASEはいかに巨大市場を生み出すか 三菱総合研究所編 NHK出版 2020年5月
- 2 モビリティサービス 森川高行, 山本俊行編 コロナ社 2020年5月
- 3 群集マネジメント総論——理論と実践 東京大学社会連携部門群集マネジメント研究会 東京大学出版会 2020年6月
- 4 物流コスト調査報告書——2019年度 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所編 同法人 2020年3月
- 5 物流を学ぶ——基礎から実務まで 山本裕, 男澤智治編 中央経済社 2020年4月

- 6 次世代モビリティ社会を見据えた都市・交通政策——欧州の統合的公共交通システムと都市デザイン 日本都市センター編 同法人 2020年3月
- 7 路面電車からトラムへ——フランスの都市交通政策の挑戦 青木亮, 湧口清隆 晃洋書房 2020年5月
- 8 AUTONOMY——自動運転の開発と未来 ローレンス・D・バーンズ, クリストファー・シュルガン 辰巳出版 2020年6月
- 9 日本の道路政策——経済学と政治学からの分析 太田和博 東京大学出版会 2020年6月
- 10 自動運転・MaaSビジネスの法務 戸嶋浩二, 佐藤典仁編 中央経済社 2020年7月

<外国書>

- 11 Transportation, Land Use, and Environmental Planning Elizabeth Deakin 編 Elsevier 2020年
- 12 Understanding Mobility as a Service (MaaS) David A. Hensher, Chinh Q. Ho, ほか Elsevier 2020年
- 13 OECD Tourism Trends and Policies 2020 OECD 編 OECD Publishing 2020年
- 14 Strassenbahn Jahrbuch 2020 GeraMond Verlag 同社 2019年
- 15 Ländliche Mobilität vernetzen——Ridesharing im ländlichen Raum und dessen Integration in den öffentlichen Nahverkehr Maria Daskalakis, Carsten Sommer, ほか編 Oekom Verlag 2019年
- 16 Tramway Renaissance in Western Europe——A Socio-technical Analysis Dejan Petkov Springer VS 2020年
- 17 Last Subway——The Long Wait for the Next Train in New York City Philip Mark Plotch Cornell University Press 2020年
- 18 Urban Transport Systems G. Passerini, C. Borrego 編 WIT Press 2020年
- 19 British Railway Disasters Robin Jones Gresley Books 2019年
- 20 Driverless Cars, Urban Parking and Land Use Robert A. Simons Routledge 2020年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『国鉄 機能と財政の構図』

石川達二郎著／交通日本社発行／1975年

本書は、国鉄の経理制度が経営にどのように組み込まれて機能しているかなど動的な財政論を含む国鉄経営論についてまとめられたものである。著者は、国鉄の経理局長や常務理事・首都圏本部長を歴任し、後に運輸調査局（現・交通経済研究所）理事長などを務めた。鉄道は陸上で最も少ない空間を利用して、大量の需要にこたえうる安全かつ高速の大衆的交通手段である。このような鉄道事業を国鉄が行うために必要な経営設備の費用や資金の流れ、資産の形成過程、発生主義を原則とする国鉄の財務に係る諸原則、分権管理や計数による管理など巨大組織を経営するための手法、線別の輸送費用の差異などについて、具体的な数値を用いて、論じられている。国鉄経営の実態を正確に理解するためには、有益な資料である。古森 □

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：https://www.itej.or.jp/

最寄駅：JR／東京メトロ 上野駅から徒歩3分

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各種対応を行っています。来室のさいには、マスク着用および手指消毒にご協力をお願いします。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳